



北欧の図書館をイメージした店舗設計で 患者さんに癒しの空間を提供

東京警察病院の前に店舗を構えるなごみ薬局は、デンマークの国立図書館をイメージして内装を設計しており、落ち着いた独特な雰囲気醸し出している。一步薬局に入ると、木目調の本棚や円卓などが目に留まり、やわらかい照明が癒しの空間を演出し、店内に流れる季節に合わせた音楽が、心地よく聞こえてくる。

代表取締役の渡邊輝さんは「病は気から」とよく言いますが、当薬局に来られた患者さんに少しでも元気になってもらうために、癒しの空間を提供したいと考えていました。また、薬局というと、どこかかしこまった場所で話しづらい雰囲気がありますが、そういったイメージを払拭して、患者さんが何でも薬剤師に相談できる環境を提供することが必要だと感じていました」と説明する。

同薬局が図書館をイメージして設計したのは、患者さんに薬識をつけてもらいたいという思いもあるからだ。患者さんによっては薬を飲みたくないと言うケースがあるが、その大半の人が薬に対して誤解を持っているという。本棚には健康関連の書籍を並べ、患者さんからの希望があれば、時間をかけて服薬指導している。「去年は、区の施設や老人福祉施設で薬の使い方をテーマに講演をしました。地域に少しでも貢献して、患者さんや地域の人たちが幸せになっていただければ、私たちもうれしいです」と、渡邊さんは熱い眼差しで語ってくれた。



PHOTO COMMENT

なごみ薬局ではオリジナルのお薬手帳（箱の中の白い表紙）を作成しているが、雑貨店で見つけたおしゃれなブックカバーは、お薬手帳のカバーとしても使えるという。

PHOTO PROFILE

Address：東京都中野区野方1-29-5
Company：株式会社なごみ薬局
Representative Director：渡邊 輝